※本記事の著作権は北國新聞社が所有し、記事の二次利用について、使用許諾を得ております。

都内のホテル開設支援

北陸銀、ノンリコースで融資

北陸銀行は16日、返済の原資を不動産事業による収益に限定する「ノンリコースローン」を適用し、東京・千代田区でカプセルホテルを開設する運営会社に融資した。景気拡大で地価の上昇傾向が続いている首都圏で、企業の成長性に着目した事業性融資を強化し、収益力の向上を図る。

カプセルホテル事業を手掛けるナインアワーズ（東京）や新生銀行グループの昭和リース（同）が事業の運営主体として設立した特定目的会社（SPC）に対し、資金を供給した。

ナインアワーズは2019年、1時間単位の滞在にも対応する次世代型のカプセルホテル2施設を開設し、20年の東京五輪・パラリンピックで見込まれる外国人観光客らの需要を取り込む。

ノンリコースローンは従来は大手行が中心だったが、超低金利による利ざや縮小が続く中、最近は地銀が地価上昇による将来利益を見込み、不動産開発が進む都市部などで実施する動きが広がっている。

ノンリコースローン　不動産担保の価値に頼らず、事業の収益性に着目する「プロジェクトファイナンス」の手法の一つ。借入金を返済できなくなった場合、通常融資とは異なり、担保を処分しても残った債務は返済する必要がない。金融機関にとっては通常より金利を高く設定でき、利ざやを多く稼げるメリットがあるという。

掲載日:2018/03/17 面名:H3R ページ:004　　北國新聞 :朝刊